2021年４月21日

各　位

会　社　名　株式会社ジェイグループホールディングス
（コード番号３０６３：東証マザーズ）
本社所在地　名古屋市中区栄三丁目４番28号
代　表　者　代表取締役　新田　二郎
問合せ先　取締役副社長　林　芳郎
電話番号　（052）243-0026（代表）
（URL https://www.jgroup.jp/）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時	2021年４月21日　16：00～17：00
開催方法	対面による実開催及びオンラインによるライブ配信開催
開催場所	東海東京証券株式会社 東京本社ホール （東京都中央区日本橋二丁目５番１号 日本橋高島屋三井ビルディング30階）
説明会資料名	2021年２月期決算説明資料

【添付資料】

決算説明会において使用した資料

以上



2021年２月期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

（3063）

2021年４月21日

目次

1. 連結決算概要

業績の概要 ---- 4
連結貸借対照表概要 ---- 5
店舗の営業状況 ---- 6
連結キャッシュ・フロー計算書概要 ---- 7
セグメント別業績概要 ---- 8
資金繰り改善対策 ---- 9
既存店収益状況 ---- 10
店舗数の推移 ---- 11

2. 今後の取り組み

今後の取り組み ---- 13
①店舗運営コストの改善 ---- 14
②本社経費の削減 ---- 15
③店舗ポートフォリオの改善 ---- 16
④新規事業の開発 ---- 20
⑤エリアマーケティングの強化 ---- 21
種類株式の発行並びに資本の額等の減少 ---- 22
今期の業績見通し ---- 23
株主還元について ---- 24
店舗でのコロナ対策（参考資料） ---- 25


寿司と串とわたくし
SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI
空気清浄中
TAKARA
SUNTORY

1. 連結決算概要

業績の概要

売上高：6,700百万円、営業損失：1,543百万円、純損失：2,352百万円

期初よりコロナの影響を多大に受け、GoToキャンペーン等により回復の兆しが見えるも、繁忙期となる12月には各自治体からの休業・時短要請及び1月からの緊急事態宣言を受け売上大幅減。コスト削減策を打つものの過去最大の損失を計上。

	2020年2月期		2021年2月期		前年同期比（%）
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	
売上高	14,210	100.0	6,700 ①	100.0	47.2
売上原価	4,716	33.2	3,120	46.6	66.2
売上総利益	9,493	66.8	3,580	53.4	37.7
販売管理費	9,402	66.2	5,123	76.5	54.5
営業利益または損失	91	0.6	△1,543	－	－
営業外収益	145	1.0	208 ②	3.1	143.6
営業外費用	228	1.6	130	1.9	57.2
経常利益または計上損失	8	0.1	△1,465	－	－
特別利益	148	1.0	1,019 ③	15.2	688.6
特別損失	233	1.6	1,762 ④	26.3	754.6
税金等調整前当期純利益	△77	－	△2,208	－	－
親会社株主に帰属する当期純損失	△174	－	△2,352	－	－

① コロナ禍により営業時間短縮、休業を行ったことにより、売上高が前年比**47.2% %へ減少。**

② 不動産事業における長期借入金に付随する**金利スワップ契約の評価益94百万円**を計上。

③ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として実施した臨時休業に伴う時短要請協力金の**助成金等1,018百万円**特別利益の計上。

④－1 感染症の拡大防止の取組として、店舗の臨時休業や営業時間短縮等の対応に起因する費用及び損失等**1,013百万円を特別損失**に計上。（**コロナ特損**）

④－2 海外店舗を含む**減損損失597百万円**

④－3 13店舗の退店により**店舗閉鎖損失148百万円**計上

連結貸借対照表概要

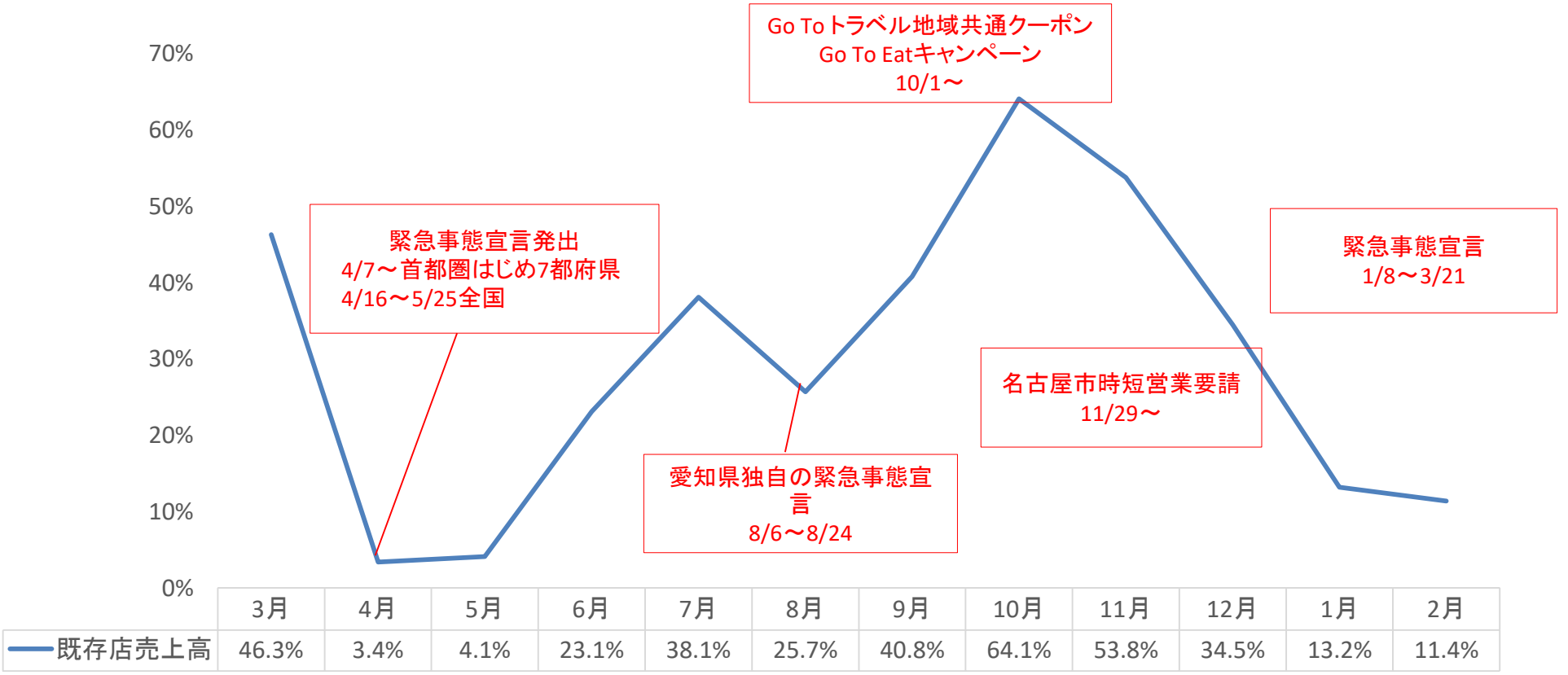
（百万円）	2020年2月期 期末	2021年2月期 期末
資産の部		
流動資産	1,787	3,413
現金及び預金	909	2,320
売掛金	308	66
たな卸資産	205	163
その他	363	213
固定資産	9,696	7,508
有形固定資産	7,730	5,735
建物及び構築物	2,713	2,568
土地	3,725	2,858
その他	1,291	308
無形固定資産	475	433
投資その他の資産	1,490	1,339
繰延資産	15	9
資産合計	11,499	10,931

（百万円）	2020年2月期 期末	2021年2月期 期末
負債の部		
流動負債	2,706	3,210
買掛金	389	49
短期借入金 ※1	916	1,393
その他	1,400	1,767
固定負債	6,325	7,506
長期借入金 ※2	4,721	6,142
その他	1,604	1,364
負債合計	9,032	10,717
純資産の部		
株主資本	2,389	149
資本金	1,524	1,594
資本剰余金	1,448	1,518
利益剰余金	△506	△2,887
自己株式	△76	△76
その他の包括利益累計額	△37	△12
新株予約権	6	1
非支配株主持分	108	75
純資産合計	2,467	214
負債純資産合計	11,499	10,931

※1：一年以内返済予定長期借入金を含む
※2：資本性劣後ローン9億円を含む

店舗の営業状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
総店舗数（直営）	132	134	135	142	142	142	142	143	143	143	137	137
通常営業店舗数	89	1	15	42	74	85	108	117	114	27	0	0
（通常営業店舗数/総店舗数）	67.4%	0.7%	11.1%	29.6%	52.1%	59.9%	76.1%	81..8%	79.7%	18.9%	0%	0%
営業短縮店舗数	26	0	30	50	51	13	7	6	3	51	41	29
休業店舗数	17	133	90	50	17	44	27	20	26	66	118	108



※時短・休業店舗も含む

連結キャッシュ・フロー計算書概要

	2020年 2月期	2021年2月期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	884	114	税金等調整前当期純損失2,208百万円 減価償却費353百万円 、減損損失597百万円、 のれん償却額35百万円、 店舗閉鎖損失のうち固定資産の除却25百万円、 有形固定資産から たな卸資産1,568百万円振替
投資活動によるキャッシュ・フロー	△721	△639	不動産事業における有形固定資産の取得による支出699百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	208	1,929	短期借入金の増加477百万円、 長期借入金による収入3,230百万円、 長期借入金返済による支出1,811百万円
現金及び現金同等物の増減額	371	1,404	
現金及び現金同等物の期首残高	537	909	
現金及び現金同等物の期末残高	909	2,313	不測の事態に備え、手元現金の積み増し

セグメント別業績概況

＜飲食事業＞
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、営業自粛要請により営業時間短縮、休業を行い、減収減益、売上高は**前年対比27.6%**。

＜不動産事業＞
不動産3件を売却し、大幅な増収、増益。
今期新たにオープンした、**EXIT NISHIKIビルの賃貸収入**が加わり高収益。

＜ブライダル事業＞
新型コロナウイルス感染症の影響から婚礼施行前年同期比で**婚礼件数26.6%、売上高34.8%**へ大幅に減少。

＜その他の事業＞
広告制作事業を再編し、飲食事業子会社の自社制作に切り替えによりグループ内取引が減少。また、新型コロナウイルス感染症の影響で卸売関係の取扱高が減少。

（百万円）

		2020年 2月期	2021年2月期	前年同期差額	前年同期比（%）
飲食事業 居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供	売上高	12,260	3,387	△8,872	27.6
	営業利益	517	△1,857	△2,375	–
不動産事業 ※ 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	2,562	4,325	1,762	168.8
	営業利益	460	1,207	747	262.4
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	764	265	△498	34.8
	営業利益	4	△109	△113	–
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	687	170	△517	24.8
	営業利益	△12	△5	7	39.4
調整額	売上高	△2,064	△1,448	616	70.1
	営業利益	△878	△779	99	88.7
合計	売上高	14,210	6,700	△7,509	47.2
	営業利益	91	△1,543	△1,634	–

※ダイヤモンドウェイビル、物流センター及び社員寮の売却による不動産売却額26億1千万円・売却益10億3千万円

資金繰り改善対策

新型コロナウイルス感染症の影響による事業環境の変化に対応して資金繰り対策を実施

銀行借入

金融機関からの借入　**34億6千万円**

⇒2020年3月～2021年2月末現在において新型コロナウイルス感染症対応のため金融機関からの借入

助成金

助成金　**総額10億1千8百万円**

⇒新型コロナウイルス感染症対応に伴う休業に対する雇用調整助成金、休業協力金、家賃給付支援金、持続化給付金などの助成金の申請
2020年3月～2021年2月

支払家賃の交渉

家賃の減額または猶予　**総額2億3千万円 / 12ヶ月**

⇒ 2020年3月～2021年2月支払い分の家賃支払の減額または猶予

販管費の抑制

販売費及び一般管理費の抑制額　**8億5千万円 / 12ヶ月**

⇒求人費、広告費、販促費、消耗品費などの抑制

固定資産の売却

固定資産（不動産）3件の売却　**26億1千万円**

⇒商業ビル（ダイヤモンドウェイ）、自社物流センター、賃貸マンションの売却

既存店収益状況

全既存店売上高の対前年同期比



居酒屋業態既存店売上高の対前年同期比



		2020年									2021年			2021年2月期実績
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	46.8%	2.7%	2.8%	20.5%	36.9%	22.8%	38.7%	63.5%	51.3%	30.9%	8.7%	6.4%	27.7%
	来店客数前年同月比	52.2%	3.9%	3.2%	22.8%	41.1%	27.5%	43.3%	67.8%	54.7%	32.8%	11.6%	11.9%	31.1%
	客単価前年同月比	89.5%	68.0%	87.9%	89.8%	89.9%	83.0%	89.5%	93.6%	93.8%	94.0%	74.9%	53.4%	88.8%
レストラン業態	売上高前年同月比	32.4%	7.5%	11.4%	33.2%	41.8%	32.4%	42.7%	61.8%	61.8%	57.7%	35.6%	36.3%	37.6%
	来店客数前年同月比	38.0%	10.6%	12.7%	36.0%	42.1%	32.4%	47.8%	74.0%	80.4%	61.4%	40.0%	42.8%	42.6%
	客単価前年同月比	85.2%	71.3%	89.2%	92.3%	99.2%	100.2%	89.3%	83.5%	76.9%	93.9%	88.9%	84.7%	88.3%
カフェ業態	売上高前年同月比	69.9%	6.1%	6.9%	43.1%	47.7%	48.2%	66.9%	82.0%	78.5%	59.2%	45.3%	53.4%	49.7%
	来店客数前年同月比	76.3%	6.5%	7.3%	45.3%	48.8%	47.0%	64.2%	94.9%	92.5%	64.6%	49.3%	55.6%	53.9%
	客単価前年同月比	91.6%	94.6%	94.8%	95.2%	97.7%	102.6%	104.2%	86.4%	84.8%	91.7%	92.0%	96.0%	92.2%

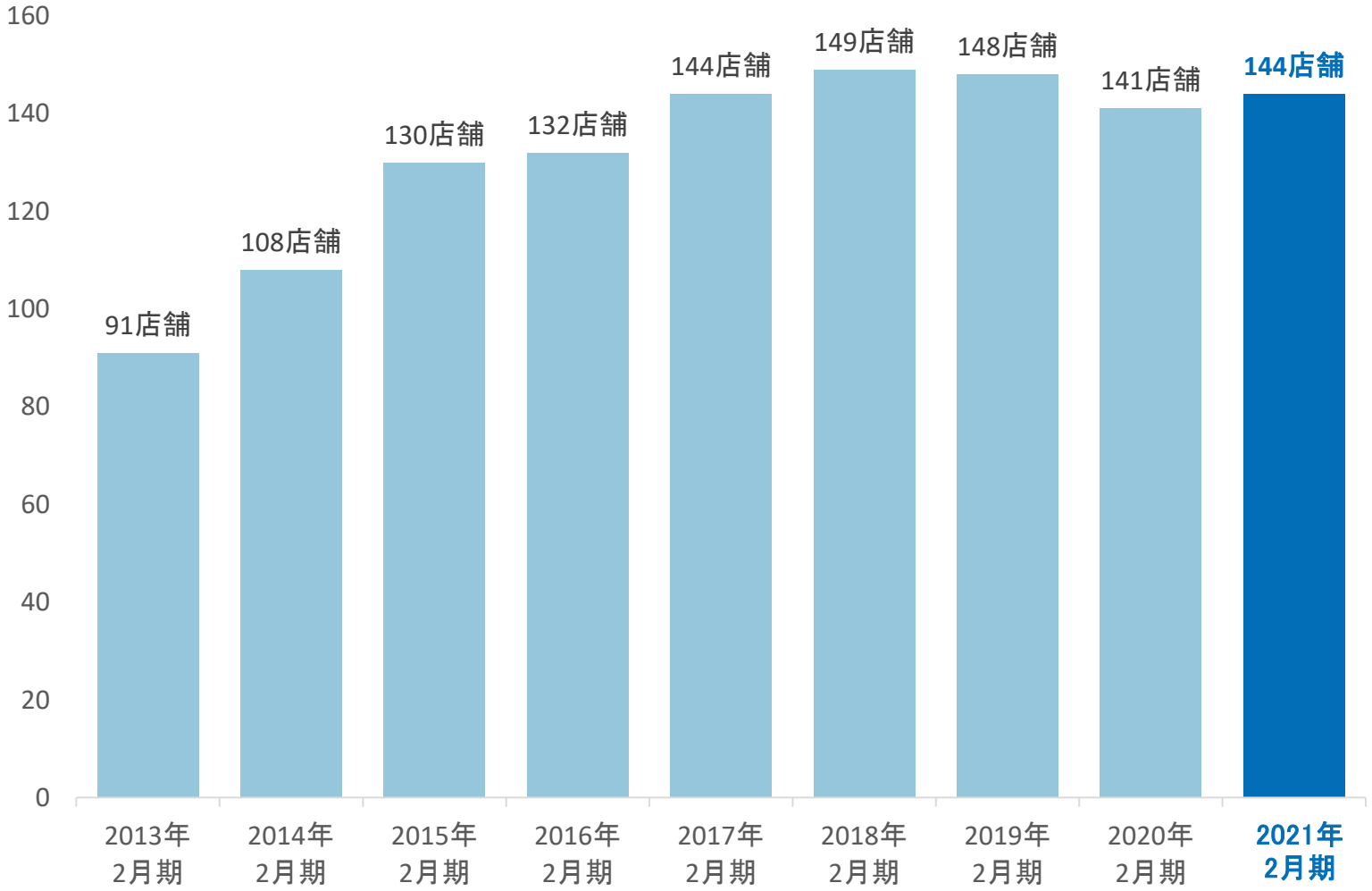
※既存店基準：開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。

店舗数の推移

2021年2月期期末時点で

新規出店16店舗・リニューアル9店舗・退店13店舗となり

78業態、144店舗体制となる





2. 今後の取り組み

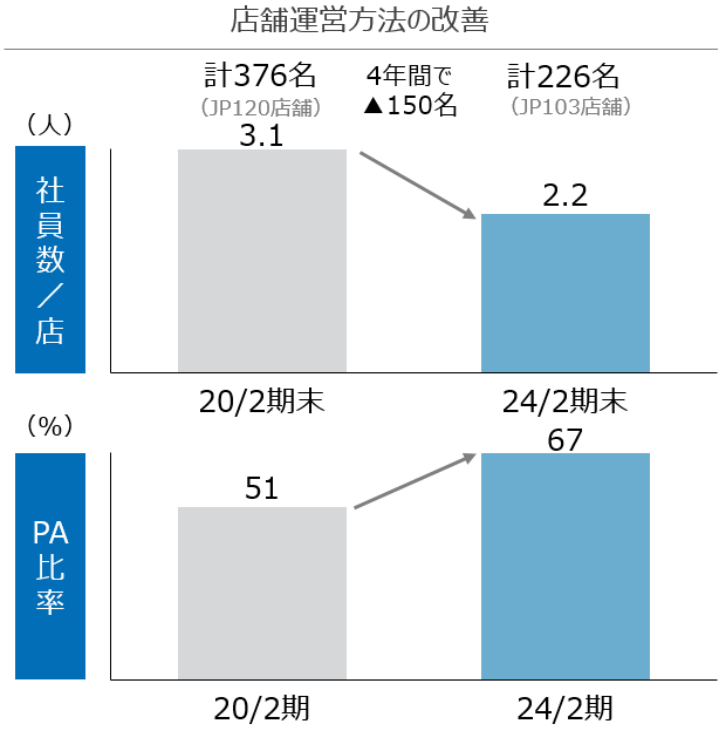
今後の取り組み

方針	重点施策
経営基盤の強化へ 『守りの取り組み』	◆ 店舗運営コストの改善 ◆ 本社経費の削減
コロナ禍以降の売上確保へ 『攻めの取り組み』	◆ 店舗ポートフォリオの改善 ◆ 新規事業の開発 ◆ エリアマーケティングの推進

①店舗運営コストの改善

店舗運営体制の改善

1. **正社員数の削減** （2020年2月期 対 2024年2月期）
   - ✓ 1店舗当たりの社員数削減3.1名/店→2.2名/店
   - ✓ 採用抑制による社員数の自然減
2. **パートアルバイト（PA）比率の向上** （2020年2月期 対 2024年2月期）
   - ✓ 1店舗当たりのPA比率51%→67%



店舗生産性の向上

1. **みなし残業時間の圧縮と総労働時間の削減**
2. **セルフオーダーシステムの拡大によるホール人件費の削減**

②本社経費の削減

東京オフィスの閉鎖

自社物流センターの売却

間接部門人員削減

✓ 間接部門社員29人削減

中間管理職の削減

✓ 中間管理職を19人削減

諸経費削減

✓ 広告宣伝費
✓ 求人費、会議費、開発調査研究費ほか

各種施策効果額の一覧

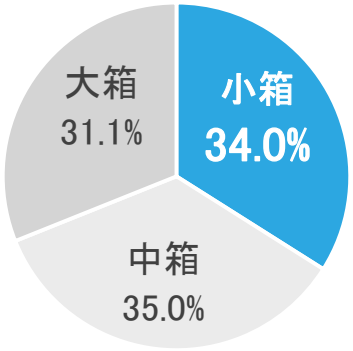
1.	東京オフィス	▲0.1億円/年
2.	物流センター	▲0.3億円/年
3.	間接部門人員削減	▲1.4億円/年（2024年度）
4.	中間管理職削減	▲0.2億円/年（2024年度）
5.	諸経費の抑制	▲1.2億円/年（2024年度）
合計		▲3.3億円/年（2024年度）

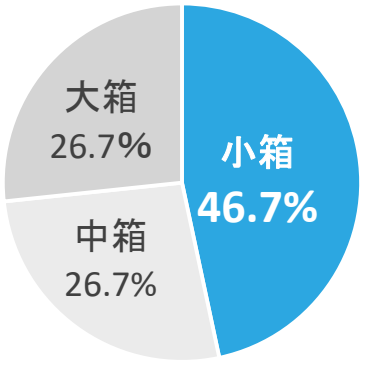
中長期的に本社経費の削減に取り組み、2024年度には利益貢献3.3億円を想定。

③店舗ポートフォリオの改善

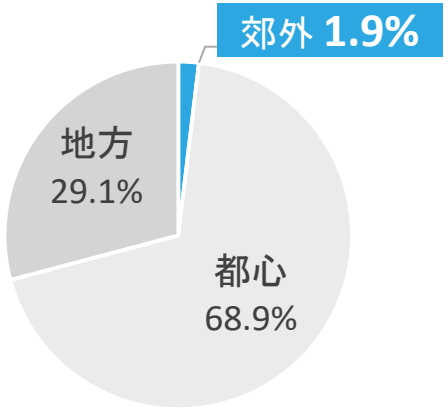
中長期的に店舗ポートフォリオの見直しを行い、収益性改善を図る

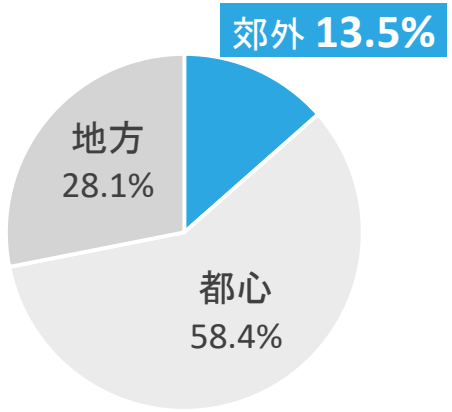
大箱⇒小箱



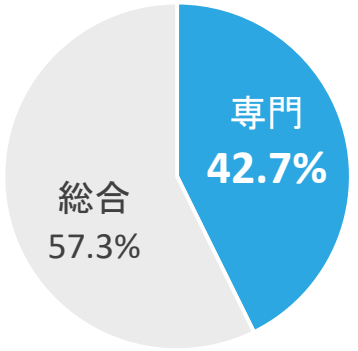


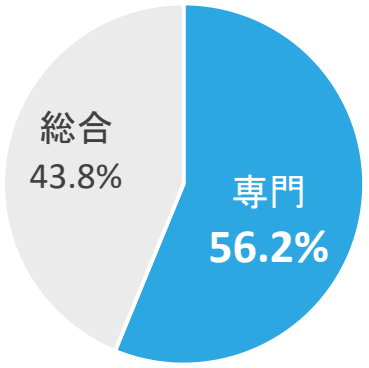
都心⇒郊外立地





総合⇒専門業態





※60坪以上は大箱、40～60坪は中箱、40坪未満は小箱とした。都心は東京都/名古屋市の商業地域、郊外は左記の住宅立地、地方はその他（主に地方都市）と定義。
郊外の例：名古屋市 地下鉄東山線沿線（池下～藤が丘）、大曽根等、東京都 JR中央線沿線（中野、吉祥寺）、武蔵小杉、町田等

③店舗ポートフォリオの改善

リニューアル成功してきた業態		コロナ禍においても好調な業態	
きばくもん KIBAKUMON きじょうもん KIJOMON		サーモンパンチ	
光蔵 吟醸マグロ		寿司と串とわたくし SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI	
✓ 総合居酒屋から専門性の高い業態 ✓ 小箱の業態にシフト		✓ 回復が早い若者向けの業態開発 ✓ 写真映えするメニュー展開	

③店舗ポートフォリオの改善

サーモンパンチ



- ✓ サーモン料理専門店
- ✓ 写真映えするメニュー展開
- ✓ ランチ営業により時短要請の影響カバーし売上好調

リニューアル日	店舗名	2020年3月比
2020年9月15日	サーモンパンチ 名駅店	267.6%
2020年10月2日	サーモンパンチ 栄店	新規出店
2021年3月16日	サーモンパンチ 金山店	210.9%

今後のリニューアル予定

2021年4月28日予定　サーモンパンチ 渋谷店
（東京都渋谷区）

③店舗ポートフォリオの改善

寿司と串とわたくし

SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI



- ✓ 本格寿司と串揚げを手軽に楽しめるネオ大衆居酒屋
- ✓ 写真映えするメニュー展開
- ✓ ランチ営業により時短要請の影響カバーし売上好調

リニューアル日	店舗名	2020年3月比
2020年12月10日	寿司と串とわたくし	107.5%

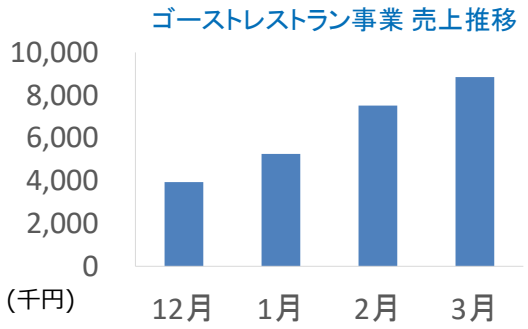
直近のリニューアル

2021年4月20日　寿司と天ぷらとわたくし（京都市中京区）

④新規事業の開発

ゴーストレストラン

- ✓ 12月より名駅・栄・金山・静岡エリアに
  20店舗58業態でゴーストレストラン展開
- ✓ 順調に売上高拡大



テイクアウト・キッチンカー

- ✓ テイクアウト専門店から揚げ紅白
  東京都江東区に2月25日オープン
- ✓ 拡大するテイクアウト市場の収益取込のため
  キッチンカー展開を順次拡大



博多かわ屋 通信販売・催事

- ✓ 販売チャネルの多様化の一環として、EC・催事の拡大を図る
- ✓ 自社サイト及び、外食企業オンラインショッピングモール
  「イエトソト」にてEC販売



業務受託・派遣業の開始

- ✓ 子会社として株式会社ジェイキャストを設立
- ✓ 外食企業・サービス業・飲食コンサル業へ派遣

⑤エリアマーケティングの推進

同一エリアに多業態をドミナント展開している強みを最大限活かし、顧客の店舗間の回遊・囲い込みを図る

飲み放題サブスク

- ✓ 顧客回遊の促進のため飲み放題サブスクによるリピート顧客の獲得
- ✓ 名駅・栄・金山を中心に施策を実施、東京圏へ展開拡大予定

CRMの推進

- ✓ SNS（LINE等）やアプリを使用したCRMの推進を実施
- ✓ 顧客を店舗に呼び込む情報発信、サービスの提供





種類株式の発行並びに資本金の額等の減少

2021年5月27日開催予定の定時株主総会において
①第三者割当による種類株式の発行、並びに②資本金の額及び資本準備金の額の減少について付議いたします

①第三者割当による種類株式の発行	
発行新株式数	種類株式300株
発行価額	1株につき1,000,000円
調達資金額	3億円

※加えて、同上の種類株式700株（7億円）募集事項の決定について取締役会へ委任することを付議しております。

②資本金の減少	
減少後の資本金	5千万円
減少後の資本準備金	0円

今期の業績見通し

業績予想について	新型コロナウイルスの影響の見通しが立たず、業績予想数値について合理的な算出が困難であることから、未定とさせていただきます。

（百万円）

	2021年2月期 通期実績	2022年2月期 業績予想	前年同期比（%）
売上高	6,700	未定	―
営業利益	△1,543	未定	―
経常利益	△1,465	未定	―
親会社株主に帰属する当期純利益または純損失	△2,352	未定	―
配当金 ※	中間 1.5円 期末 無配	中間 未定 期末 未定	

※2022年2月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルスの影響が現時点では先が見えず、合理的な配当予想の判断が困難なことから、配当については未定とします。

株主還元について

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、
より多くの皆様に事業への一層のご理解をいただくことを目的とし、
株主優待制度は引き続き実施いたします。

所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分（1,000円券×2枚）を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分（1,000円券×4枚）を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分（1,000円券×8枚）を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分（1,000円券×12枚）を年2回

代替商品のご案内

- 4,000円コース
  猿Cafeブレンド
  カタログギフトA
- 8,000円コース
  黒豚さつまセット
  カタログギフトB
- 12,000円コース
  黒豚さつま豪華セット
  カタログギフトC



店舗でのコロナ対策（参考資料）



お問い合わせ先

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部　IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計
画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。